


PROFILE

- 1981年11月4日 伊賀市にて誕生
- 鈴鹿市在住
- 181cm 70Kg
- 家族構成/妻・長男・長女
- 趣味:ボクシング・キャンプ・料理

法政大学経済学部を卒業後、株式会社NTTドコモに入社。11年間の勤務を経て、2017年7月に退社。同年8月に衆議院議員の父川崎二郎の秘書として入所し、政治の道を志す。

日々の活動を発信します！
SMS 本人お繋HPもぜひご覧ください



それでも、前へ

川崎ひでと 5つの想い

ウィズコロナでも 安心できる生活

常温保存ができるワクチンの開発、インフルエンザに罹ったときのタミフルのような経口での治療薬の開発を促進し、withコロナでも安心できる社会整備を進めてまいります。

医療体制の支援

今回のコロナ禍で最大の課題となったのは、地域医療ネットワークのバラつき。大病院、市民病院などの地方自治体病院、国立・県立病院だけでなく、同様の役割を担っている民間病院への支援を強化し、地域医療ネットワークの増強を図ります。

アフターコロナの 経済

マスク不足でもわかるように、コロナ禍で国民全員が海外依存度の高さに不安を覚えたと思います。行きすぎた海外依存を是正し、国内生産を高める政策を考えてまいります。

テクノロジーとの 融合

コロナ禍でリモートワークが脚光を浴び、家で仕事ができるようになった方も増えました。行政が率先して民間と組んで、テクノロジーの社会実装を進めることで、新しいビジネススタイルやライフスタイルが生まれます。誰もがチャレンジできる社会を目指します。

あんしん・便利な まちづくり

災害対策、病院や学校の充実、便利な道路網(中勢バイパス・北勢バイパスなど)、鉄道網(リニア・在来線)、四日市港湾の整備といったインフラを整えることで地域への企業進出や人々の定着につながり、東京一極集中の是正につながると確信しています。

社会環境の変化“change”を一文字変えるだけで“change”好機になります。Changeをchanceに変えましょう。悲観することなく一緒に前に進みましょう。



自由民主党
公認

川崎ひでと

かわさき

(39歳)

未来を見据えて、今求めているかなければならない課題は、与野党の垣根を越えて、協力して実現していかなければならないと思っています。これからの必要議員立法を立案・提出し、与野党合意のもと成立させていく中で、足元から、出来ることを着実に実現していきます。

人権外交の推進

近年、企業活動でも国の支援においても重要視される「人権」。日本が、核を持たず、戦争を放棄し、平和主義を憲法にうたう国として、「人権」を主軸にした外交で国際協力を推進します。

多様性の尊重

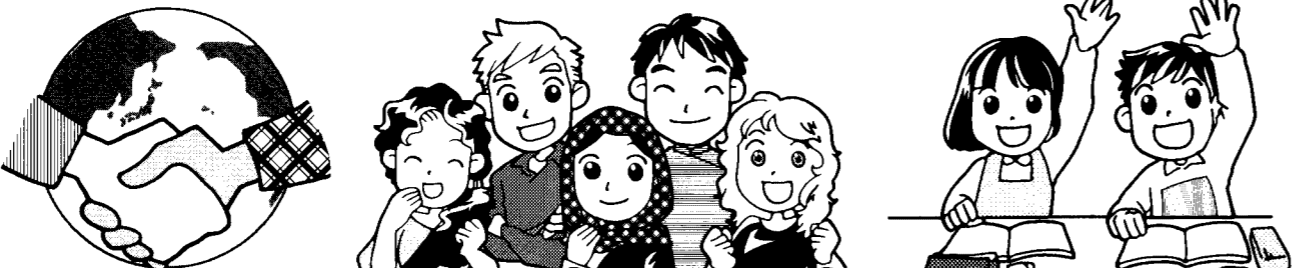
女性の政治参画推進で、意思決定の場に多様性の実現を目指します。外国人の受入れを抜本的に見直し、日本が世界から学びたい、働きたい、暮らしたいと思えるあこがれの国になることを目指していきます。自由と多様性にあふれる社会、共生社会の実現を目指します。

未来への責任

子どもの教育は国の責任。幼児から大学まで授業料無償化の実現を目指します。子どもの本質的知力を公教育で得ることができる教育環境の実現を目指します。子どもと教育分野への集中投資で、これからの人材を育成します。

豊かさを実感できる社会に!

三重県立津高校を卒業し、日本人の留学生がまだ珍しい中、人種のはらばらさや文化の違いに直面しながらも、アメリカは、様々な人種(ルーツ)や宗教をはじめ多様な価値観を持った人々が、一つの共存・共生社会を形成し、これを、民主主義を基盤に、目に見える約束事や法律でまとめていることと努力している国でした。問題解決に必要な社会規範は、論語で言う「和して同せず」の世界なのだ、納得して帰国しました。以来、私の座右の銘は「和して同せず」です。多様な意見があり、お互いを尊重し、支え合う共生社会は、一人ひとりが実感を伴った豊かさを感ぜられる社会だと思います。



立憲民主党

中川正春

なかがわまさはる

中川正春
オフィシャル
ホームページ



Facebook



Instagram



Twitter



YouTube



プロフィール 1950年6月10日 三重県松阪市生まれ。三重県立津高等学校卒業。「民主主義を学ぶのであれば本場アメリカで」と、米国の大学へ進学。1973年、ジョージタウン大学(アメリカのジョンソン元大統領、クリントン元大統領の母校)外交学部を卒業。アメリカの発展は移民による多様性から生まれるダイナミズムであることを肌で感じる。大学時代からの親友は、メキシコ移民の苦学生で、現在は内科医として活躍。三重県議会議員を3期12年務めた後、国政への挑戦を決意。1996年10月衆議院議員に初当選。民主党政権では文部科学大臣として、将来の日本を担う子どもたちの教育環境の充実に尽力。内閣府担当大臣(防災、多文化共生、男女共同参画)での経験を活かした議員立法の成立に精力的に取り組む。

第49回衆議院議員総選挙 第25回最高裁判所裁判官国民審査

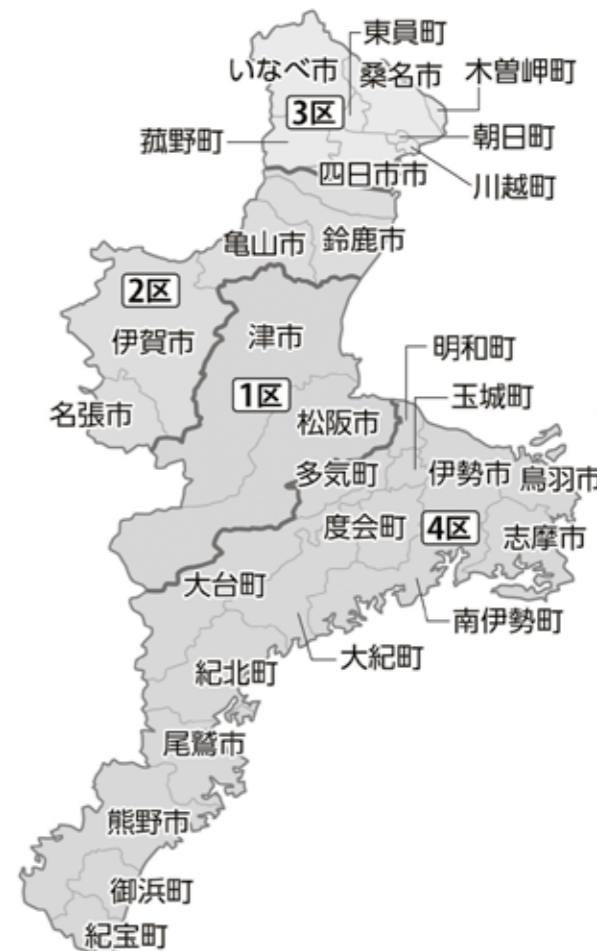
投票日は **10月31日(日)**

【期日前投票】 10月20日(水)から10月30日(土)まで

- ※新型コロナウイルス感染症対策のため、期日前投票のご利用をお願いします。
- ※新型コロナウイルス感染症で宿泊・自宅療養等をしている方で、一定の要件に該当する方は、「特別郵便等投票」ができます。詳しくは、総務省のホームページを御確認いただくか、市町選挙管理委員会までお問い合わせください。
- ※投票所入場券が届いていない場合や紛失した場合でも、選挙人名簿に登録され、選挙権がある場合は投票できます。詳しくは、市町選挙管理委員会までお問い合わせください。

「だから、私は投票する。」

三重県選挙管理委員会



第49回衆議院議員総選挙 第25回最高裁判所裁判官国民審査

投票日は10月31日(日)

投票の方法

小選挙区選挙 は **候補者氏名** を記入します。

比例代表選挙 は **政党等名** を記入します。

最高裁判所裁判官国民審査 は

やめさせたいと思う裁判官には上の欄に×を記入します。
やめさせなくてよいと思う裁判官には何も記入しません。

【期日前投票】 10月20日(水)から10月30日(土)まで

(※投票日当日に投票できない方は、期日前投票のご利用をお願いします。)

「だから、私は投票する。」

三重県選挙管理委員会マスコットキャラクター



いっぴよん

三重県選挙管理委員会

※選挙管理委員会では、有権者の皆様が安心して投票できるよう投票所における
新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を次のとおり実施します。

- ・投票所、期日前投票所にはアルコール消毒液を設置しています。
- ・投票管理者、投票立会人、投票事務従事者はマスクを着用しています。
- ・投票所内は扉や窓の常時開放、又は定期的な換気を実施しています。
- ・記載台、筆記具等不特定多数の方が触れる箇所は、定期的に消毒しています。

また、投票所に来られる有権者の皆様におかれましても、次のとおり感染防止対策をお願いします。

- ・投票所にお越しの際は、マスクの着用、咳エチケットの実践をお願いします。
- ・来場前、帰宅後の手洗い等の対策をお願いします。
- ・周りの方との距離の確保に御協力をお願いします。

※新型コロナウイルス感染症で宿泊・自宅療養等をしている方で、一定の要件に該当する方は、
「特例郵便等投票」ができます。詳しくは、総務省のホームページを御確認いただくか、
市町選挙管理委員会までお問い合わせください。

※投票所入場券が届いていない場合や紛失した場合でも、選挙人名簿に登録され、
選挙権がある場合は投票できます。詳しくは、市町選挙管理委員会までお問い合わせください。